

大頭真一の本

マルコ説教集「わたしを誰と呼ぶか」第2巻 税込み 1,540 円

2025年6月 ヨベル



壊れた世界のただ中で回復の礎に。壊れてしまった世界のただな中に立って、神の秩序へと回復するために身体をはって駆け巡る行動人としてイエスを描く熱血の書。

マルコ説教集「時が満ちて」第1巻 税込み 1,430 円

2025年2月 ヨベル



マルコ説教集全四巻の第一巻。第二巻「わたしを誰と呼ぶか」第三巻「この杯を飲め」第四巻「さあ、行こう」続々刊行。

「聖化の再発見 ジパング篇」税込み 1,870 円 2024 ヨベル



「先生の周りできよめで困っている人というのはあるでしょうか。」えっ、いきなり、そこですか?!こちらがたじろく直球でズバズバ切り込み、現代に生きるキリスト者の聖化(きよめ)の問題を生活の最前線で解明せんと欲す。好評を博した『聖化の再発見』を日本に根づかせる希望の模索が〈ジパング篇〉へと結晶。

「聖化の再発見」上下巻セット 各税込み 2,200 円 2022 いのちのことば社



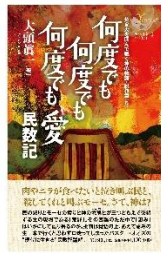
「キリスト者の完全」教理と生活のギャップを乗り越える
しばしば個人的な「きよめの体験」として扱われてきたホーリネスを聖書に照らして吟味・再考する。英国・ナザレン神学校の教授たちが共同で聖書的・神学的・教会史的・牧会的に省察した論考を初の邦訳。体験主義の偏りを修正し聖性の豊かさを発見する。上巻は神の似姿を取り戻す、関係性の回復がテーマ。下巻では「神が聖であるからあなたがたも聖であれ」とは何を意味するのかを問う。

「焚き火を囲んで聴くキリスト教入門」税込み 1,430 円 2023 いのちのことばより



「百万人の福音」連載中の神学対談からのセレクション。今回の仲間たちは、濱和弘・鎌野直人・昌川信雄・松島雄一・山崎ランサム和彦・南野浩則・安黒務・豊田信行・川上直哉・金井由嗣・岩上敬人・中村佐知・小淵朝子・早矢仕宗伯・手島勲矢・内田樹・稲垣久和・高橋秀典・城倉由布子など。

モーセ五書説教集全 8 巻



「アブラハムと神さまと星空と」 **第三刷** 税込み 1,430 円 2019 2024³ ヨベル

「天からのはしご」 **第二刷** 税込み 1,210 円 2020 2022² ヨベル

「栄光への脱出」 (出エジプト記) **第二刷** 税込み 1,320 円 2021 2024² ヨベル

「聖なる神の聖なる民」 (レビ記) **第二刷** 税込み 1,320 円 2021 2024² ヨベル

「何度でも 何度でも 何度でも 愛」 (民数記) **第二刷** 税込み 1,430 円 2021 2024² ヨベル

「えらべ、いのちを」 (申命記上) 税込み 1,210 円 2021 ヨベル

「いのち果てるとも」 (申命記・下) 税込み 1,210 円 2023 ヨベル

「神さまの宝もの」 (申命記・中) 税込み 1,210 円 2023 ヨベル

「焚き火を囲んで聴く神の物語・聖書信仰篇」 キンドル版 500 円 紙版 1,200 円+税・送料 2021



Bridge Over Troubled water! 福音派のど元のあいくちとも言える聖書信仰問題。物語を説教で語るという切り口で逆巻く水に橋を架ける試み。クラウド・ファンディングを募り、ライフ・ストラー企画によって製作されたこの本は、キンドルでの電子書籍と紙版の二種でお求めになります。久保木聡 古川和男 関真士 豊田信行 濱和弘の諸師が寄稿。紙版購入は https://life-stories.com/?page_id=911



「聖書は物語る」

第九刷 税込み 1,210 円 2013、2025⁹ ヨベル



聖書は何を語っているのか？

一度は聖書を読んでおきたいと思うけれども、挫折してしまうあなたに。明野キリスト教会（京都）で好評開催中の「一年12回で聖書を読む会」のテキストが本になりました。聖書の背骨のような神と人とのガチンコの関係に焦点を当てて書かれた、かっこの聖書案内役です。

聖書はさらに物語る」

第五刷 税込み 1,320 円 2015、2024⁵ ヨベル



神と人とのガチンコに向き合っている聖書！

「聖書の奇跡はほんとうに起こったのか?」「聖絶は史実か?」「自然災害は神の裁きか?」「一神教はなぜ戦争をするのか?」など、聖書に取り組む時に沸き起こってくる疑問にも真摯に答えつつ聖書の全体像をわかりやすく概説。「一年12回で聖書を読む会」第2年目の学びを集成。現代人が聖書に向き合うことを励ましてくれるハンディ・ガイドブック。好評を博した『聖書は物語る』に続く第2弾。

「焚き火を囲んで聴く神の物語・対話篇」 税込み 2,750 円 2017 ヨベル



神という巨象をなでてみよう。仲間と、焚き火を囲みながら。

月刊誌『舟の右側』に連載（2016.1～12月）され、反響を起こした《焚き火を囲んで聴く神の物語》を対話篇として12の焚き火に12人の仲間たちが応答を書き下ろし！12人の仲間たちとは、高橋秀典・水谷潔・久下倫生・中村佐知・山崎ランサム和彦・川向肇・豊田信行・上沼昌雄・吉川直美・古川和男・大坂太郎・久保木聡の諸氏。

ロダール「神の物語」(上下) 二刷準備中 税込み (各) 1,760 円 2017、2025² (ハードカバー2011、2012²)



待望のウェスレアン神学概論！藤本 満氏推薦（高津キリスト教会

牧師）独特な魅力があふれている本です。キリスト教神学の全体を、創世記に始まって黙示録まで聖書を、物語ることによって説明してくれるからです。ロダール博士は聖書の物語に慣れ親しんでいる私たちに、「難しい神学も、こうして読むと心に届くよ」と言わんばかりに、説教をするかのように、聖書を解き明かしながら、神学の本題・神学の課題へと私たちを導き、連れて行ってくれます。

牧師・大頭の「焚き火日記」 税込み 1,430 円 2024年3月 キリスト新聞社より



「キリスト新聞」に3年間連載の単行本化。あらたに4コマ漫画を加えて。
「牧師の仕事は、楽しい」人に出会い、話を聞き、聖書を語り、祝福を祈る、ただそれだけにとっても奥が深い。日本が知らない聖職者のリアル。ゆるゆると流されているようで、何かに導かれるようなひとりの男の物語。

こどものための神のものがたり 税込み 1,100 円 2024 年 9 月 発行：からしだね書店 発売：ヨベル



「からしだね書店だより」2023 年連載の単行本化。森住ゆきの和紙ちぎり絵 25 枚、大人のための神の物語つき。

「同性愛」二つの見解 聖書解釈をめぐる対論 ドリパ訳 2,860 円 2025 年 4 月 いのちのことば



今日の教会にとって、同性愛ほど差し迫った問題はありません。同性愛、聖書、教会に関する受容的と伝統的の2つの見解は、分裂を招くことになりがちです。この本は、キリスト教の伝統の豊かな歴史に注意を払い、聖書を歴史のおよび組織的な神学と対話させようとしています。そのために、四人の神学者/聖書学者がそれぞれの見解を明確にし、対話しています。

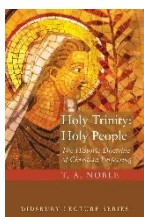
【今後の予定】

焚き火牧師と神の国のひみつ 2025 クリスマス ヨベル



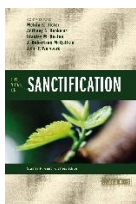
本邦初の神学推理小説。2021 年度月刊「舟の右側」に連載。いなくなった「お嬢さん」を探す焚き火牧師とご近所の篆刻（てんこく）作家・火山先生が発見した神の国のひみつとは！？和紙ちぎり絵作家森住ゆき氏とのコラボで贈るヨベル 35 周年記念企画。山口希生氏による解説つき。

三位一体の神の民 キリスト者の完全の教理史（仮題） 2025 いのちのことば



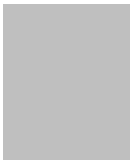
ナザレンの神学者ノーブルが、ウェスレーが試みた教父と宗教改の神学の統合を発展させ、キリスト者の「完全」を現代の文化により微妙な方法で表現することを考慮するために執筆。三位一体の教義に、ウェスレーの聖理解の基盤を求め、現代への適用を提案する。

「聖化」五つの見解 聖化をめぐる対論 いのちのことば



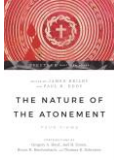
「同性愛」二つの見解と同じゾンダーバン対論シリーズの一冊を大頭眞一 with チャット GPT が翻訳。ウェスレアン/カルヴァニスト/ペンテコステ/ケジック/アウグスティニアンデスペンセーションが語り合う聖化。

「教会の物語」 価格未定 2025 年刊行予定



南野浩則氏と大頭眞一による教会史テキスト。教会はいかに聖書の物語の続きを語ってきたか。物語の神学の視点から教会史をひもとく。

「贖罪の本質 四つの視座」 価格未定 2025年刊行予定



IVP のマルチビューシリーズの一冊を大頭眞一 with チャット GPT が翻訳。勝利者キリスト説/刑罰代償説/癒し説/万華鏡説が語り合う贖罪論。